



儒学者。宇摩郡小林村(現四国中央市土居町)出身。23歳の時、大坂の尾藤二洲の塾で学び、後に昌平黌の二洲の元で再び学問を続け、二洲門下の三傑に数えられた。寛政10年に川之江に塾を開き、享和2年には、小松藩主一柳頼親に招かれ、培達校(翌年養正館と改称)の儒官となる。また、藩校以外にも自分の屋敷内に緑竹舎などの私塾を建て、多くの子弟の教育に当たった。生涯、向学心を失わず、自らの誠実な日常生活をもって人を教育する「徳行天下第一」と称された。現在、西条市小松町に近藤篤山旧邸が復元、公開されている。

略歴

- 明和3(1766)年11月9日 宇摩郡小林村(現四国中央市土居町)に生まれる。
- 安永4(1775)年 凶作が続き家が破産。父高橋甚内が別子銅山の役人となり、一家が別子山へ移住。
- 天明8(1788)年 弟容斎とともに大坂の尾藤二洲の塾に入門。
- 寛政4(1792)年 大坂で私塾を開く。
- 寛政6(1794)年 江戸の昌平黌にて学ぶ。
- 寛政9(1797)年 父母孝養のため別子山に帰郷。
- 寛政10(1798)年 川之江にて開塾。
- 享和2(1802)年 小松藩に藩校培達校(翌年、養正館と改称)ができ、儒官となる。
- 文化3(1806)年 小松に居を移す。
- 天保13(1842)年 江戸幕府より学問や行状を賞して、褒賞される。
- 弘化3(1846)年2月26日 81歳で永眠。

<関連図書>

- 愛媛子どものための伝記刊行会『愛媛子どもための伝記 第6巻 中江藤樹・尾藤二洲・近藤篤山』愛媛県教育会 1984年
- 渡辺盛義『近藤篤山』愛媛県教育会 1968年
- 近藤則之・岡田武彦『叢書・日本の思想家29 近藤篤山・林良斎』明德出版社 1988年
- 『江戸時代人づくり風土記 38 ふるさとの人と知恵 愛媛』社団法人農山漁村文化協会 1997年
- 『近藤篤山 小松の文化と教育』小松町教育委員会 1999年

(肖像画:西条市教育委員会蔵)